

新潟県中越地震の斜面複合災害のモニタリングに関する研究

- メカニズム、維持管理、景観、生態系、廃棄物等の総合的斜面工学からの検討

第1回打合せ メモ

日時：平成18年3月3日（金）10時～12時10分

場所：土木学会 A会議室

参加者：後藤委員長，稲垣副委員長，天野委員，伊藤委員，岩佐委員，上野委員，
小川委員，太田委員，佐々木寧委員，鈴木委員，中野委員

1. 今後のスケジュール

3月末までに原稿

4月11日までに取りまとめて全体調整

4月21日（金）入稿

5月8日（月）納品

5月11日（木）の斜面講習会で配布（予定）

2. 目次案の検討

・訂正版を稲垣副委員長が作成する。

3. 報告書の書式

・報告書の書式は，土木学会論文集の書式に統一する。ただし，先頭の著者名や概要は省略する。雛形を作成する（後藤委員長）。

4. その他

・図表や写真の番号

図表や写真の番号は，節の番号-通し番号とする。（例）図 3.2-1

・写真には，地点番号と日を記載する（モニタリングの研究のため）

写真 3.2-1 タイトル（53 地点：05.1.15）

・参考文献は，各節の最後に設ける。

・執筆者名は，各節の最後に（ ）書きで，記載する。

例（稲垣秀輝・太田英将）

・各章の取りまとめ責任者は，各節の原稿を編集し章を完成させる。内容と書式をチェックする。オフセット印刷なので，印刷して書式を確認し修正する。

・各章の編集権は，各章の取りまとめ責任者に一任する。各自の第1次原稿はHPにも掲載される。

5. 次回

・必要に応じて4月11日頃に各章の責任者が集まる。

(資料) メーリングリストより抜粋

報告書の書式等

- ・土木学会の重点研究の報告書

<http://www.jsce.or.jp/library/page/juhten/index.html>

- ・土木学会論文集の書式に統一する．
- ・文章の最後に括弧書きで著者名を記載

報告書の印刷

ウェブでの報告書公開以外に，報告書のカラー印刷

- ・ A 4 版約 70 ページ（両面，そのうちカラー約 20 ページ，くるみ製本），500 部印刷．
- ・ 予算が限られているので，もしページ数が増えたら部数やカラー ページ等を減らす．
- ・ 500 部印刷した報告書は，関係機関に配布
- ・ 5 月 11 日開催予定の斜面一般書の講習会や，土木学会全国大会（9 月 20 日～22 日，立命館大学），その他催し物でも配布

各章の責任編集

- 1．はじめに（後藤）
- 2．新潟県中越地震の概要（稲垣副委員長）
- 3．斜面崩壊（後藤）
- 4．景観と斜面災害（中野委員）
- 5．生態系と斜面災害（佐々木（寧）委員）
- 6．斜面と災害廃棄物（大野幹事）
- 7．斜面災害の復興計画と対策案（中濃委員）
- 8．斜面災害の長期モニタリング計画（大野幹事）